

105-17 航空レーザデータを用いた MMS データの高精度化

中日本航空株式会社 中村 勇貴 … 92

105-18 ナローマルチビーム測深機を用いた港湾構造物被災状況調査

朝日航洋株式会社 中内 隆幸 … 96

105-19 航空レーザスキャナと航空写真測量デジタルカメラによる同時撮影の活用について

国際航業株式会社 太田 有紀 … 100

105-20 レベル 2500 道路ネットワークの位置補正方法の研究

アジア航測株式会社 松井 晋 … 103

105-21 東日本大震災による産業分野等の被害状況の整理

国際航業株式会社 小早川 雅行 … 106

109 事業計画 公益財団法人 日本測量調査技術協会 平成 25 年度事業計画 … 109

事業報告 検定推進センター 測量成果検定業務 … 111

114 トピックス

第 34 回測量調査技術発表会・特別講演 開催報告 … 114

第 35 回測量調査技術発表会・特別講演 開催報告 … 116

平成 25 年度 地理情報標準認定資格 初級技術者講習・試験 実施報告 … 118

測量成果(地図)品質向上講習会 開催報告 … 119

投稿カード … 120

CPD … 121

入会案内 … 122

発行図書案内 … 123

部会・委員会・GISセンター名簿 … 124

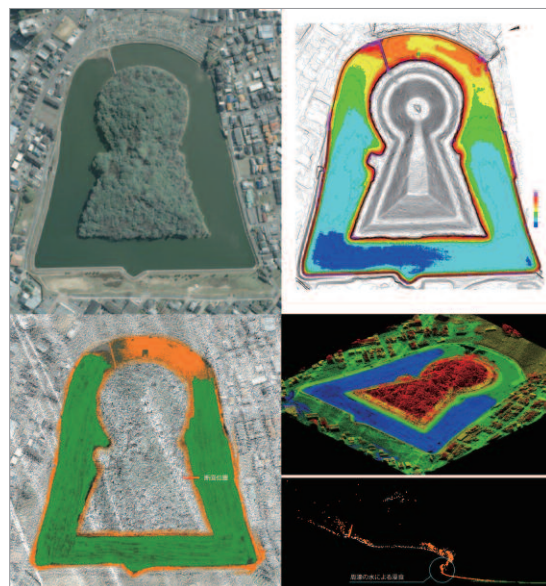
会員名簿 … 128

航空レーザ／3次元サイドスキャンソナー／地上レーザ／アジア航測株式会社

ニサンザイ古墳を対象に、陸上部を航空レーザ測量、周濠部を 3 次元サイドスキャンソナーによる深浅測量、さらに、これらの手法では計測しづらい墳丘の裾回りと周濠の外周部を地上レーザを用いて測量しました。

ニサンザイ古墳では、周濠にたまった水による浸食が原因で墳丘南側を中心に崩落が進んでいますが、今回の計測でその状況を定量的に把握することができました。得られたデータは、今後、墳丘の崩落を防ぐための護岸整備工事検討の際の有用な情報となります。また、周濠部を含む古墳全体及び周辺の精密な地形情報は、古墳に関する学術的研究や社会教育にも役立つものと考えられます。

ニサンザイ古墳は百舌鳥古墳群の南東端にある大型前方後円墳で、宮内庁が「東百舌鳥陵墓参考地」に指定し管理しています。墳丘の規模は全長約 290 メートル、後円部径約 156 メートル、高さ約 24.6 メートル、前方部幅約 224 メートル、高さ約 25.9 メートルで、日本で 8 番目の大きさです。



©アジア航測株式会社

左上：オルソ画像

左下：点群データ／白：航空レーザ 緑：3 次元サイドスキャンソナー 橙：地上レーザ

右上：等高線

右中：点群データ／鳥瞰図（標高段彩）

右下：点群データ／断面図（墳丘南側造り出し付近）